

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2020年10月12日
【四半期会計期間】	第36期第2四半期（自 2020年6月1日 至 2020年8月31日）
【会社名】	株式会社魚喜
【英訳名】	UOKI CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 大庭 美和
【本店の所在の場所】	神奈川県藤沢市湘南台二丁目10番地5
【電話番号】	0466(45)9282
【事務連絡者氏名】	執行役員管理本部長 三富 秀雄
【最寄りの連絡場所】	神奈川県藤沢市湘南台二丁目10番地5
【電話番号】	0466(45)9282
【事務連絡者氏名】	執行役員管理本部長 三富 秀雄
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第35期 第2四半期 連結累計期間	第36期 第2四半期 連結累計期間	第35期
会計期間	自 2019年3月1日 至 2019年8月31日	自 2020年3月1日 至 2020年8月31日	自 2019年3月1日 至 2020年2月29日
売上高 (千円)	5,806,903	5,163,810	11,785,444
経常利益 (千円)	14,335	66,242	113,185
親会社株主に帰属する四半期(当期) 純利益又は親会社株主に帰属する四 半期純損失 () (千円)	10,605	22,108	52,447
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	16,921	23,350	46,186
純資産額 (千円)	372,228	458,687	435,336
総資産額 (千円)	2,827,394	2,167,375	2,671,896
1株当たり四半期(当期)純利益金額 又は1株当たり四半期純損失金額 (円)	4.15	8.66	20.54
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	13.2	21.2	16.3
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	483,520	266,881	517,510
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	9,444	4,639	21,781
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	99,515	121,443	130,113
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	1,078,954	658,157	1,051,121

回次	第35期 第2四半期 連結会計期間	第36期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 2019年6月1日 至 2019年8月31日	自 2020年6月1日 至 2020年8月31日
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額 (円)	8.65	3.69

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第35期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。なお、第36期第2四半期連結累計期間及び第35期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在しておりません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間（2020年3月1日から2020年8月31日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う経済活動の停滞等により非常に厳しい状況にあります。しかしながら、緊急事態宣言の解除後、新型コロナウイルスの感染拡大防止に配慮しつつ、特別定額給付金やGO TOキャンペーン等の政策効果もあり、個人消費は持ち直しに向かうことが期待されます。一方、新型コロナウイルスのワクチンや治療薬の開発・普及の目途がたっていないなか、予断を許さない状況が続いております。

当社グループでは新型コロナウイルス感染防止への対応として、毎朝の検温実施、手洗い・アルコール消毒の実施の徹底、出張の制限、懇親会の自粛等の指示事項を定め、また、発熱者が出た場合の対応フローを作成し、お客様に安心してお買い物ができる態勢を整えたくうえで店舗運営に努めてまいりました。

営業面では、外出自粛やインバウンド需要の消滅により、飲食事業に於いては、厳しい業績となりましたが、鮮魚事業に於いては、巣ごもり消費の需要を考慮した商品仕入により粗利の確保に努めました。また、第1四半期に引き続き、働き方改革によるローコストオペレーションを実施し、労働生産性の向上を図り、品切れや廃棄によるロス無くし、店舗運営コストの見直しを行い、収益構造の改善にも取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当社の売上高は51億63百万円（前年同四半期比11.1%減）、売上総利益は22億61百万円（前年同四半期比6.8%減）、営業利益は60百万円（前年同四半期比315.1%増）、経常利益は66百万円（前年同四半期比362.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は22百万円（前年同四半期は10百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

（鮮魚事業）

鮮魚事業の売上高は、46億52百万円（前年同四半期比9.0%減）となり、セグメント利益は、2億95百万円（前年同四半期比51.1%増）となりました。

（飲食事業）

飲食事業の売上高は、3億7百万円（前年同四半期比37.2%減）となり、セグメント損失は、22百万円（前年同四半期は37百万円のセグメント利益）となりました。

（不動産事業）

不動産事業の売上高は、2億25百万円（前年同四半期比0.1%増）となり、セグメント利益は、22百万円（前年同四半期比9.4%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産)

当第 2 四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ 5 億 4 百万円減少し、21億67百万円となりました。このうち、流動資産は前連結会計年度末に比べ 4 億51百万円減少して13億99百万円となり、また、固定資産は前連結会計年度末に比べ52百万円減少して 7 億68百万円となりました。

(負債)

負債の総額は、前連結会計年度末に比べ 5 億27百万円減少し、17億 8 百万円となりました。このうち、流動負債は前連結会計年度末に比べ 5 億13百万円減少して12億46百万円となり、また、固定負債は前連結会計年度末に比べ 14百万円減少して 4 億61百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ23百万円増加し、 4 億58百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第 2 四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ 3 億92百万円減少し、 6 億58百万円となりました。当第 2 四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、使用した資金は 2 億66百万円（前年同四半期は 4 億83百万円の獲得）となりました。これは主に、仕入債務の減少等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は 4 百万円（前年同四半期は 9 百万円の獲得）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は 1 億21百万円（前年同四半期は99百万円の使用）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出等によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第 2 四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	5,200,000
計	5,200,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在 発行数(株) (2020年8月31日)	提出日現在発行数(株) (2020年10月12日)	上場金融商品取引所名又は 登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	2,555,856	2,555,856	東京証券取引所市場第二部	単元株式数 100株
計	2,555,856	2,555,856		

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
2020年6月1日~ 2020年8月31日		2,555,856		941,031		1,029,015

(5) 【大株主の状況】

2020年8月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式(自己株式を除く。)の総数に対する所有株式数の割合(%)
有限会社フォー・エム	神奈川県藤沢市湘南台2-34-3	764	29.94
有吉 和枝	神奈川県藤沢市	473	18.54
有吉 美和	神奈川県藤沢市	54	2.12
UOKI社員持株会	神奈川県藤沢市湘南台2-10-5	49	1.96
株式会社ラックランド	東京都新宿区西新宿3-18-20	35	1.37
株式会社万城食品	静岡県三島市八反畑103-1	29	1.14
株式会社横浜銀行	神奈川県横浜市西区みなとみらい3-1-1	28	1.13
福田 次起	神奈川県横須賀市	20	0.79
株式会社静岡産業社	静岡県静岡市葵区流通センター8-1	12	0.50
堀之内 建二	東京都調布市	11	0.45
計	-	1,479	57.93

(注) 所有株式数の千株未満は、切り捨てて記載しております。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2020年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 2,100	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 2,551,800	25,518	-
単元未満株式	普通株式 1,956	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	2,555,856	-	-
総株主の議決権	-	25,518	-

【自己株式等】

2020年8月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合(%)
株式会社魚喜	神奈川県藤沢市湘南台 2-10-5	2,100	-	2,100	0.08
計		2,100	-	2,100	0.08

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2020年6月1日から2020年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（2020年3月1日から2020年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,051,121	658,157
売掛金	527,448	499,480
商品	127,304	108,487
貯蔵品	12,532	10,252
その他	132,837	122,950
流動資産合計	1,851,245	1,399,327
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	529,464	498,159
減価償却累計額	408,715	383,209
建物及び構築物(純額)	120,748	114,949
工具、器具及び備品	797,119	754,316
減価償却累計額	670,242	626,353
工具、器具及び備品(純額)	126,877	127,962
土地	389	389
有形固定資産合計	248,015	243,301
無形固定資産		
その他	73,304	62,670
無形固定資産合計	73,304	62,670
投資その他の資産		
投資有価証券	64,542	66,333
敷金及び保証金	360,624	337,973
繰延税金資産	22,730	11,743
その他	51,433	46,025
投資その他の資産合計	499,330	462,075
固定資産合計	820,650	768,047
資産合計	2,671,896	2,167,375

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	735,891	432,809
短期借入金	250,000	150,000
1年内返済予定の長期借入金	212,512	203,804
未払金	295,695	254,711
未払法人税等	41,901	38,271
賞与引当金	18,000	18,985
資産除去債務	12,565	129
その他	193,460	148,080
流動負債合計	1,760,026	1,246,791
固定負債		
長期借入金	341,909	329,174
長期預り保証金	92,545	90,545
関係会社支援損失引当金	17,300	17,300
資産除去債務	24,778	24,877
固定負債合計	476,532	461,896
負債合計	2,236,559	1,708,687
純資産の部		
株主資本		
資本金	941,031	941,031
資本剰余金	1,029,015	1,029,015
利益剰余金	1,536,426	1,514,318
自己株式	5,634	5,634
株主資本合計	427,985	450,093
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,351	8,593
その他の包括利益累計額合計	7,351	8,593
純資産合計	435,336	458,687
負債純資産合計	2,671,896	2,167,375

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
売上高	5,806,903	5,163,810
売上原価	3,379,684	2,902,427
売上総利益	2,427,218	2,261,382
販売費及び一般管理費	2,412,637	2,200,852
営業利益	14,581	60,529
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	1,548	1,398
受取手数料	976	20
受取補償金	-	5,942
その他	815	1,042
営業外収益合計	3,345	8,407
営業外費用		
支払利息	3,577	2,673
その他	12	21
営業外費用合計	3,590	2,694
経常利益	14,335	66,242
特別利益		
固定資産売却益	-	470
特別利益合計	-	470
特別損失		
固定資産除却損	1,188	49
減損損失	581	13,750
特別損失合計	1,770	13,799
税金等調整前四半期純利益	12,565	52,913
法人税、住民税及び事業税	15,277	20,366
法人税等調整額	7,893	10,438
法人税等合計	23,170	30,805
四半期純利益又は四半期純損失()	10,605	22,108
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失()	10,605	22,108

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失()	10,605	22,108
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,315	1,241
その他の包括利益合計	6,315	1,241
四半期包括利益	16,921	23,350
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,921	23,350
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	12,565	52,913
減価償却費	52,720	47,485
減損損失	581	13,750
賞与引当金の増減額(は減少)	-	985
関係会社支援損失引当金の増減額(は減少)	50	-
資産除去債務履行差額	-	1,685
受取利息及び受取配当金	1,553	1,402
支払利息	3,577	2,673
固定資産売却損益(は益)	-	470
固定資産除却損	1,188	49
売上債権の増減額(は増加)	123,159	27,968
たな卸資産の増減額(は増加)	22,923	21,097
仕入債務の増減額(は減少)	482,093	303,081
未払消費税等の増減額(は減少)	9,023	2,081
その他の資産の増減額(は増加)	37,295	4,734
その他の負債の増減額(は減少)	152,333	110,232
小計	529,103	247,297
利息及び配当金の受取額	1,553	1,402
利息の支払額	3,610	2,668
補償金の受取額	-	5,942
法人税等の支払額	43,524	24,260
営業活動によるキャッシュ・フロー	483,520	266,881
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	18,042	13,537
有形固定資産の売却による収入	18,632	0
無形固定資産の取得による支出	-	128
敷金及び保証金の差入による支出	6,761	7,726
敷金及び保証金の回収による収入	11,785	19,388
預り保証金の受入による収入	6,500	-
預り保証金の返還による支出	2,000	2,000
貸付けによる支出	-	100
貸付金の回収による収入	160	224
資産除去債務の履行による支出	-	760
その他	830	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	9,444	4,639
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	50,000	100,000
長期借入れによる収入	100,000	100,000
長期借入金の返済による支出	147,917	121,443
リース債務の返済による支出	1,598	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	99,515	121,443
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	393,449	392,964
現金及び現金同等物の期首残高	685,505	1,051,121
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,078,954	658,157

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症に伴う当社グループの業績に関して、当社グループでは、当該感染症による影響が2021年2月まで続くものと仮定し、繰延税金資産の回収可能性及び固定資産の減損会計等の会計上の見積りを行っております。

なお、前期末の仮定について重要な変更を行っておりません。

(四半期連結貸借対照表関係)

当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行5行と当座貸越契約を締結しております。これら契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
当座貸越極度額	1,080,000千円	1,080,000千円
借入実行残高	250,000	150,000
差引額	830,000	930,000

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
店舗使用料	572,494千円	510,530千円
給料及び手当	1,044,368	964,036
賞与引当金繰入額	18,000	18,803

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
現金及び預金勘定	1,078,954千円	658,157千円
現金及び現金同等物	1,078,954	658,157

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)

配当に関する事項

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)

配当に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自2019年3月1日至2019年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	鮮魚事業	飲食事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,114,630	490,083	202,190	5,806,903	-	5,806,903
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	22,710	22,710	22,710	-
計	5,114,630	490,083	224,901	5,829,614	22,710	5,806,903
セグメント利益	195,882	37,639	24,658	258,180	243,599	14,581

(注)1. セグメント利益の調整額243,599千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用243,609千円等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

鮮魚事業セグメントにおいて、閉店が確定した店舗の固定資産について減損損失を計上しております。当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において581千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

重要な変動はありません。

(重要な負ののれん発生益)

重要な負ののれん発生益はありません。

当第2四半期連結累計期間(自2020年3月1日至2020年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	鮮魚事業	飲食事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,652,267	307,906	203,636	5,163,810	-	5,163,810
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	21,557	21,557	21,557	-
計	4,652,267	307,906	225,193	5,185,367	21,557	5,163,810
セグメント利益又は損失()	295,992	22,455	22,335	295,872	235,343	60,529

(注)1. セグメント利益又は損失()の調整額235,343千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用236,569千円等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失()は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

飲食事業セグメントにおいて、営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである店舗の固定資産について減損損失を計上しております。当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において13,750千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

重要な変動はありません。

(重要な負ののれん発生益)

重要な負ののれん発生益はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
1株当たり四半期純利益又は 1株当たり四半期純損失()	4円15銭	8円66銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失() (千円)	10,605	22,108
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 利益又は普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純損失()(千円)	10,605	22,108
普通株式の期中平均株式数(株)	2,553,684	2,553,684

(注) 1. 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年10月12日

株式会社魚喜

取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 飯塚 正 貴 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 飯田 昌 泰 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社魚喜の2020年3月1日から2021年2月28日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2020年6月1日から2020年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（2020年3月1日から2020年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社魚喜及び連結子会社の2020年8月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。